

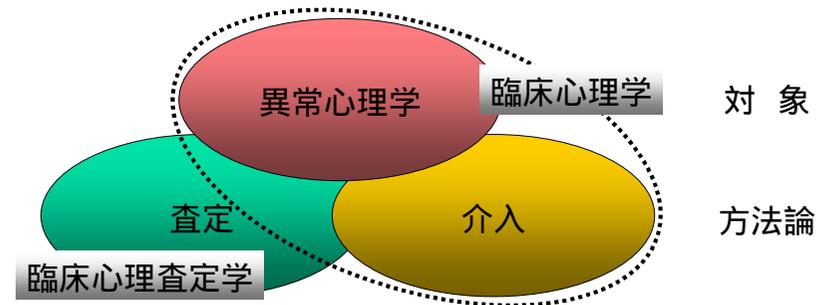
オリエンテーション

自己紹介

- ホームページ
Googleで、「熊野宏昭」で検索を
- 連絡先:
質問があれば、メールでどうぞ
アドレス: hikumano@waseda.jp

臨床心理学の構成要素と対象

- 科学としての臨床心理学の方法論は、査定と介入から構成されている
- 一方で、臨床心理学が扱う対象 (= 心理的異常) を規定するのが異常心理学



科学としての臨床心理学

- 科学としての臨床心理学は、大きく査定(アセスメント)と介入から構成されている。
 - 医学・医療を例えに出せば、診断と治療
 - 乾いた言葉で言うと、計測と制御
 - 自分のこと言えば、気づきとセルフコントロール
- アセスメントして介入するためには、どのような問題を対象にするかの知識が必要。
 - 心理的異常、精神障害の知識

人間理解の3つの方向性

- 自然科学的・物質的 「構造」面からの理解
生物学、身体医学
- 象徴的・比喩的 「内省」面からの理解
文学、哲学、精神分析学
- 行動科学的・確率論的 「機能」面からの理解
行動心理学、データ解析法

この講義で学べること

- この講義の焦点
 - 異常心理学(どのような問題を対象にするか)と介入法(どのように支援するか)。査定法(どのように問題を理解するか)は第3回で概説
- 誰にとっての講義か
 - 知的関心を満たす、ユーザーとして(自己/他者理解のため)、専門家になるために
- どうして今、臨床心理学か
 - 工業社会(物財)から知価社会(満足)へ(堺屋太一)
 - ポスト3・11時代へ、生き方の文脈の変化

臨床心理学の定義

- アメリカ心理学会(APA)では、臨床心理学を、「科学、理論、実践を統合して、人間行動の適応調整や人格的成長を促進し、さらには不適応、障害、苦悩の成り立ちを研究し、問題を予測し、そして問題を軽減、解消することを目指す学問」と定義している。
 - 人間行動がどのように維持発展されるのかについての科学的探究にかかわること
 - 人間の苦悩を生み出す状況を改善し、問題を解決していく専門的援助実践にかかわること
 - 科学者 - 実践者モデルが、教育の基本モデル

欧米での臨床心理学の位置づけ

- 臨床心理学
 - 心理学部に属し、心理学としての実証性と専門性を重視する。活動では、認知行動療法を中心として、他の専門職とも協働してコミュニティにおける専門的で統合的な介入を目指す。
- カウンセリング
 - 教育学部に属し、ロジャーズが提唱した人間性を重視する活動として、心理学にはこだわらない、広い領域に開けた人間援助の総合学を目指す。
- 心理療法
 - 例えば精神分析などの特定の理論を前提に、その理論に基づく実践を行うことを目指す。特定の学派の理論の習得訓練が目標になるので、私的な研究所での教育が中心になる。

日本の臨床心理学の実態

- 「個人心理療法」を理想モデルとしながら、実際は「カウンセリング」を実質モデルとして大多数を構成し、「臨床心理学」はほとんど機能していない。

- 人科は例外的！
- 日本心理学会では臨床に関連した研究発表が増えている。

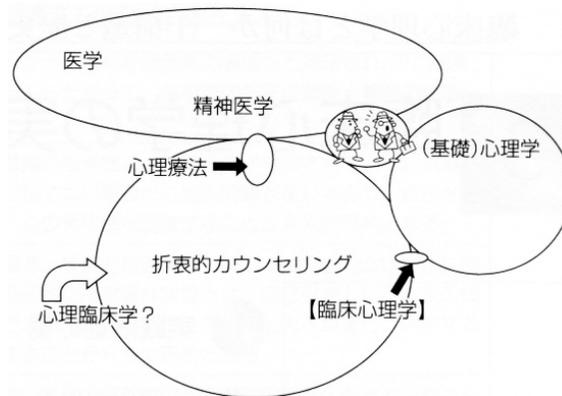


図4 日本の臨床心理学の状況

(下山、2009)

講義予定

1. 9月26日 オリエンテーション
2. 10月3日 臨床心理学の構造と実践 / 小レポート課題
3. 10月10日 臨床心理アセスメント概説
4. 10月17日 異常心理学概説
5. 10月24日 気分障害 / 不安障害
6. 10月31日 摂食障害 / 身体表現性障害
7. 11月7日 心身症 / 生活習慣病
8. 11月14日 パーソナリティ障害 / 精神病性障害
9. 11月21日 発達臨床心理学概説
10. 11月28日 休講(レポート2回分で充当)
11. 12月5日 病態毎の治療戦略(薬物療法を含む)
12. 12月12日 リラクゼーション / 認知行動療法
13. 12月19日 臨床行動分析 / マインドフルネス
14. 1月16日 力動的な心理療法 / 家族療法 / レポート課題
15. 1月23日 心療内科・精神科医療施設での実践